

授業コード	14001	授業題目	学校教育論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	火1
担当教員名	神山正弘			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話	内			担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	現代学校の課題を実践的、理論的に解明することを目的とする。						
授業計画	子どもと社会。学校教育の制度とその経営。教育課程の編成。教育システムの改革。これらを内外の動向を紹介しながら解説する。						
達成目標(達成水準)							
授業時間外の学習							
教科書・参考書							
成績評価の基準と方法							

授業コード	14002	授業題目	学校経営論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	火2
担当教員名	平井貴美代			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話	844-8463			担当教員E-Mail			
授業テーマと目的	学校の経営過程や組織的特性に関する基本的事項について学習するとともに、開かれた学校づくりや学級崩壊など、最近とくに話題となっている問題についてアプローチするための視点や方法を検討する。						
授業計画	テキストの各章を分担して講読し、それに関わる実践上の課題を出し合う 1 オリエンテーション 2 プレゼンテーション用レポート作成のための演習 3～14 テキストの講読 15 学校経営論の授業をふりかえって(まとめ)						
達成目標(達成水準)	1 学校の経営過程や組織的特性に関する基本的事項を理解することができる 2 学校教育の諸側面について経営的・組織的観点から分析することの意義を知ることができる						
授業時間外の学習	テキストの分担箇所についてレポートを作成し、発表の準備をする 授業で扱うテキストを予め読んでおき、疑問点などを整理しておく						
教科書・参考書	小島弘道編著『学校教育の基礎知識[改訂版]』(協同出版、2002年)						
成績評価の基準と方法	成績評価は、授業中に行う発表内容や授業への参加状況から総合的に判断します						

授業コード	14004	授業題目	学習指導論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	2 学期	曜日・時限	金1
担当教員名	馬場園陽一			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話	088-844-8438			担当教員 E-Mail	babazono@cc.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	<p>学習指導に関する教育心理学の理論的研究を紹介し、学習指導への実践的アプローチを試みる。 本年度は指導と評価の一体化を図るための教育評価の方法について探る。</p>						
授業計画	<p>①教育評価に関する理論的見解や教育実践に役立つ新しい教育評価の方法について紹介する。 ②受講生が自ら教育評価や学習指導に関する研究テーマを設定し、発表し、討論を行う。</p>						
達成目標(達成水準)	<p>自ら学ぶ意欲や確かな学力の育成において、指導と評価の一体化を図る授業づくりがいかに大切であるかを認識するとともに、その評価の方法についての技能を身につけることができるようになる。</p>						
授業時間外の学習	<p>自分の設定したテーマにしたがって調べ学習が求められるので、授業時間外の学習の時間がかかり必要である。</p>						
教科書・参考書	<p>特に指定していない。</p>						
成績評価の基準と方法	<p>出席回数とレポート作成、発表を総合して評価する。</p>						

授業コード	14005	授業題目	教育相談論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	集中
担当教員名	丹羽洋子			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話				担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	教育相談の心理学的基礎となる学校カウンセリング心理学の立場から、問題にアプローチする。						
授業計画	ロジャースの教育の3大原則にもとづいた問題ごとの子ども理解の仕方やそれに対する学校現場で使えるカウンセリングテクニックについて論じる。						
達成目標(達成水準)	子どもの心身の健康をより促進するかかわり方や、学校適応への回復を支援する実践的な力を獲得する。						
授業時間外の学習							
教科書・参考書							
成績評価の基準と方法							

授業コード	14006	授業題目	情報演習 I			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	集中	曜日・時限	
担当教員名	裏垣 博			担当教員所属	技術教育専修		
担当教員電話	8408			担当教員 E-Mail	uragaki@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	高度情報化社会に積極的に対応できる情報処理の基礎能力を身に付けた教員の養成を目的とする。						
授業計画	コンピュータとソフトウェアの基本操作ならびにネットワークの利用方法に関する演習を行う。Windowsの基礎、電子メール、文書処理及び表計算などよく利用される機能の学習に重点を置く。						
達成目標(達成水準)	授業計画に掲げた内容について、習熟する。						
授業時間外の学習	コンピュータを有効に活用するために、課外時間や自宅での学習を積極的に行う必要がある。						
教科書・参考書	授業時に紹介する。必要に応じてプリントを配布する。						
成績評価の基準と方法	出席状況を含む平常点とレポートを考慮して総合的に評価する。						

授業コード	14007	授業題目	情報演習Ⅱ			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	金2
担当教員名	普喜 満生			担当教員所属	理科教育専修		
担当教員電話	8420			担当教員 E-Mail	fuki@s.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	コンピュータの活用能力、情報処理に関する総合力を身につけることを目的として、講義と演習を行う。						
授業計画	ネットワークの設定およびその基礎知識の習得、メールやWebの利用、ホームページの作成、各種ソフトウェアの活用などである。						
達成目標(達成水準)	ある程度習熟した人を対象に、技能の修得に加え情報化社会の課題や情報リテラシ教育についても一緒に考える。						
授業時間外の学習	自前のノートパソコンを携行し、インターネットなども利用するとよい。						
教科書・参考書	特にないが、資料・プリント等を配布する。下記URLも参照のこと。 http://home.s.kochi-u.ac.jp/~fuki/H18/joho-in2.html						
成績評価の基準と方法	授業態度とレポートで評価する。						

授業コード	14901	授業題目	音楽科教育特論 I			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	月3
担当教員名	山中文			担当教員所属	音楽教育専修		
担当教員電話	088-844-8262			担当教員 E-Mail	a-ymnk@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	音楽教育研究の歴史と現状を考察するとともに、それを通して、音楽科における教師の指導性と授業システムの関連を検討する。						
授業計画	斎藤喜博の授業、ふしづくりの授業、創造的音楽づくりの授業など、音楽教育史上特徴のある授業構成をピックアップし、それらを、教師の指導性と授業システムの関連という観点から論議していく。						
達成目標(達成水準)	戦後の音楽教育の歴史上の変遷を理解し、その上で現状を分析批判することができる。また、教師の指導性を、授業システムから検討することができる。						
授業時間外の学習	課題レポート作成の時間を要する。						
教科書・参考書	授業内で、随時指定する。						
成績評価の基準と方法	課題レポ-80、授業内の発言・出席20の割合で評価する。						

授業コード	14902	授業題目	音楽科教育特論演習 I			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	火4
担当教員名	山中 文			担当教員所属	音楽教育専修		
担当教員電話	088-844-8262			担当教員 E-Mail	a-ymnk@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	文化としての音楽の機能を踏まえ、教育内容と教材の関連から、音楽科の授業構成を考察する。						
授業計画	音楽科における最近の教育内容・教材論を紹介し、改訂目前の学習指導要領の考え方に関わる新しい音楽科の授業構成を分析する。						
達成目標(達成水準)	教育内容・教材論を批判的に検討することができる。また、それらをもとに、音楽科の授業構成を分析し、作成することができる。						
授業時間外の学習	課題レポート作成の時間を要する。						
教科書・参考書	授業内で、随時指定する。						
成績評価の基準と方法	課題レポ-80、授業内の発言・出席20の割合で評価する。						

授業コード	14911	授業題目	器楽特論 I			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1 学期	曜日・時限	月 4
担当教員名	脇岡 宗一			担当教員所属	音楽教育専修		
担当教員電話	844-8444			担当教員 E-Mail	ob39@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	演奏にとっての土台である呼吸法とアンブシャアの確立と、オーケストラ作品における重要なパッセージの演奏法の習得。						
授業計画	基礎の反復をしながら、難易度の高いエチュードを中心にして授業を進めていく。						
達成目標(達成水準)	オーケストラの中での演奏						
授業時間外の学習	体調の管理と、日々楽器を練習する事が大切です						
教科書・参考書	オーケストラの譜面、エチュード 等 音楽家の基礎練習(P.ヒンデミット)						
成績評価の基準と方法	演奏に対する努力・成熟度、試験の成績、に出席を加味して評価します						

授業コード	14912	授業題目	器楽特論演習 I			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2 学期	曜日・時限	月 4
担当教員名	脇岡 宗一			担当教員所属	音楽教育専修		
担当教員電話	844-8444			担当教員 E-Mail	ob39@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	オーケストラ作品における重要なパッセージの演奏法を習得すると同時に、室内アンサンブルの実践を行う。						
授業計画	室内アンサンブルをより多く取り入れる。						
達成目標(達成水準)	オーケストラの中での演奏と、室内楽の演奏。						
授業時間外の学習	体調の管理と、日々楽器を練習する事が大切です						
教科書・参考書	オーケストラの譜面、難易度の高いエチュード 等						
成績評価の基準と方法	演奏に対する努力・成熟度、試験の成績、に出席を加味して評価します						

授業コード	14913	授業題目	器楽特論Ⅱ			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1 学期	曜日・時限	木1
担当教員名	宮田信司			担当教員所属	音楽教育専修		
担当教員電話	8446			担当教員 E-Mail	shmiyata@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	ピアノの演奏法と楽曲の分析、解釈について研究を深める。						
授業計画	扱う作品は主に古典派やロマン派の作曲家による楽曲とし、その楽曲分析をもとに演奏法や指導法について教示する。						
達成目標(達成水準)	個別に設定した目標をクリアすること。						
授業時間外の学習	与えられた課題について、それに関する文献・CD なども参考にしながら個々に練習しておくこと。						
教科書・参考書	その都度、指示する。						
成績評価の基準と方法	出席状況や平常点、学期末の演奏試験などで総合的に判断する。						

授業コード	14914	授業題目	器楽特論演習Ⅱ			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	火1
担当教員名	宮田信司			担当教員所属	音楽教育専修		
担当教員電話	8446			担当教員 E-Mail	shmiyata@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	器楽特論Ⅱに加え、ピアノの演奏法と楽曲の分析、解釈についてさらに研究を深める。						
授業計画	扱う作品を近代ピアノ曲・ロシア作品に広げ、その楽曲分析をもとに演奏法や指導法について教示する。演奏経験も多く積ませる。						
達成目標(達成水準)	個別に設定した目標をクリアすること。						
授業時間外の学習	与えられた課題について、それに関する文献・CDなども参考にしながら個々に練習しておくこと。						
教科書・参考書	その都度、指示する。						
成績評価の基準と方法	出席状況や平常点、学期末の演奏試験などで総合的に判断する。						

授業コード	14921	授業題目	声楽特論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1 学期	曜日・時限	金3
担当教員名	小原浄二			担当教員所属	音楽教育専修		
担当教員電話	内線8445			担当教員 E-Mail	joji@cc.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	声楽作品についての普遍的かつ芸術的表現のあり方について論及する。						
授業計画	ルネッサンスからバロック・古典、ロマン派に至るまでの作品を幅広く取り上げる。						
達成目標(達成水準)	歌唱作品を通して、作曲家や作詞者を取り巻く時代背景や社会の理解し、時代に即した演奏習慣に基づいて、豊かな表現で美しく歌うことができる。						
授業時間外の学習	声楽に関する一般的なトレーニングはもとより、演奏会、CDを通じて普段から積極的に演奏に触れることで豊かな感性を養っておくこと。						
教科書・参考書	適宜指示する。						
成績評価の基準と方法	普段の取り組み、試験結果、出席状況をふまえ、総合的に判断する。						

授業コード	14922	授業題目	声楽特論演習			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2 学期	曜日・時限	金 3
担当教員名	小原浄二			担当教員所属	音楽教育専修		
担当教員電話	内線8445			担当教員 E-Mail	joji@cc.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	J.S バッハの声楽作品、ロマン派のドイツリートを中心に曲の解釈と演奏法について研究を深め、歌唱技法の実践を通して、より高い芸術性を追求する。						
授業計画	バロックから古典にかけてのカンタータ、オラトリオ、ロマン派のドイツリートについての表現方法について研究および発表を行う。						
達成目標(達成水準)	それぞれの曲目についてその内容をよく理解し表現豊かに歌うことができる。演奏様式の認識と重要性を演奏一般の中で位置付けることができる。						
授業時間外の学習	できる限り生の演奏にふれる機会を持ち、自らの言葉で分析、批評を試みること。 日々よくさらうこと。						
教科書・参考書	随時指示する。						
成績評価の基準と方法	普段の取り組み方、試験結果、出席状況をふまえ、総合的に判断する。						

授業コード	14941	授業題目	音楽学特論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	火3
担当教員名	高橋美樹			担当教員所属	音楽教育専修		
担当教員電話	844-8917			担当教員 E-Mail	mikitaka@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	世界の諸民族の音楽を様々な角度から考察する。音楽が人々にとってどのような意味をもつのか、社会構造と音楽の関係、自国の音楽と近隣諸国の音楽との関係、伝承の形態、非西洋社会における西洋音楽の受容、マスメディアの発達などに着目する。						
授業計画	1～2 ガイダンス、文献収集及びフィールドワークの方法 3～10 文献購読、各自テーマに沿って研究計画書の作成、先行研究の整理 11～15 研究発表						
達成目標(達成水準)	各自が研究テーマを設定し、文献収集、フィールドワークの方法について理解するとともに、研究発表に向けて準備ができること。また、研究発表では他人にわかりやすく説明し、音響資料や映像、文献資料等を工夫して構成する力を養うこと。						
授業時間外の学習	研究発表にあたっては、長時間の予習が必要である。文献、インターネット、音響資料や映像を収集し、活用できるように準備しなければならない。また、発表後はレポートにまとめる作業を伴う。						
教科書・参考書	必要に応じて指示する。						
成績評価の基準と方法	研究に取り組む姿勢や各自の発表と期末に提出するレポートを最重視する。さらに、授業中の討論への参加の度合いと出席を加味して、総合的に判断する。						

授業コード	14942	授業題目	音楽学特論演習			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	木5
担当教員名	高橋美樹			担当教員所属	音楽教育専修		
担当教員電話	844-8917			担当教員 E-Mail	mikitaka@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	世界の諸民族の音楽を対象とした研究の中から、民族音楽学研究、ポピュラー音楽研究の主要な文献を講読し、アプローチの方法を考察する。さらに、各自研究テーマを設定し、文献、楽譜、音響資料などを調査分析した上で、口頭発表、論文の完成を目指す。						
授業計画	1 ガイダンス 2～9 文献購読、各自テーマに沿って研究計画書作成、先行研究の整理、資料収集、研究発表の準備 10～14 研究発表 15 研究論文の執筆						
達成目標(達成水準)	各自が研究テーマの設定に沿って研究を進め、研究発表に向けて準備ができること。また、研究論文の執筆に関して、書式、引用・註の表記法から全体の構成に至るまで、その手法を習得できること。						
授業時間外の学習	研究発表及び研究論文の執筆にあたっては、長時間の予習が必要である。また、発表後は研究論文としてまとめる作業を伴う。						
教科書・参考書	必要に応じて指示する。						
成績評価の基準と方法	研究に取り組む姿勢や各自の発表と期末に提出する研究論文を最重視する。さらに、授業中の討論への参加の度合いと出席を加味して、総合的に判断する。						

授業コード		授業題目	音楽科教育実践研究 I			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	火3
担当教員名	山中 文			担当教員所属	音楽教育専修		
担当教員電話	088-844-8262			担当教員 E-Mail	a-ymnk@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	音楽教育に関する附属校園等の授業研究を基に、音楽の授業のあり方について検討を加え、教材研究、指導法について、理論的に研究することを指導する。						
授業計画	附属校園等の授業研究を基に音楽のさまざまな授業実践プランを検討し、各人の具体的なテーマを基にした授業研究を行っていく。						
達成目標(達成水準)	附属校園等の授業研究を基に、具体的なテーマを立てて授業研究を行い、調査や授業を実践できる。						
授業時間外の学習	授業研究レポート作成の時間を要する。						
教科書・参考書	授業内で、随時指定する。						
成績評価の基準と方法	授業研究レポート 50、調査や授業の実践 50 の割合で評価する。						

授業コード		授業題目	音楽科教育実践研究Ⅱ			単位数	2
授業種別		履修開始年次	2	開講時期	1 学期	曜日・時限	月 2(脇岡) 月 5(高橋) 木 1(宮田) 金 2(小原)
担当教員名	脇岡 ・ 高橋 ・ 宮田 ・ 小原			担当教員所属	音楽教育専修		
担当教員電話				担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	よりよい音楽の授業のあり方や教材開発を、院生の専門分野を生かして、実践的に研究することを指導する。						
授業計画	附属校園等で行われている授業の記録・観察及び授業資料の研究を通じて、各人のテーマを基にした教材研究および授業研究を行う。						
達成目標(達成水準)	附属校園等の授業研究をもとに、具体的なテーマをたてて授業のあり方や教材開発について理論的に研究することが出来る。						
授業時間外の学習	授業研究のためのアンケートや、レポートの作成に時間を要する。						
教科書・参考書	随時指示する。						
成績評価の基準と方法	テーマの立て方や、アンケートの内容、レポート等をふまえ、総合的に判断する。						

授業コード		授業題目	音楽科教育実践研究 I (長期インターンシップ)		単位数	2
授業種別		履修開始年次	1	開講時期	1 学期	曜日・時限
担当教員名	山中・脇岡・宮田・小原・高橋			担当教員所属	音楽教育専修	
担当教員電話				担当教員 E-Mail		
授業テーマと目的	附属校園等において専修指導教員及び実習校指導担当者のもと実践的な課題研究テーマの基盤を形成する。					
授業計画	教材開発、学級経営、児童生徒の観察、子供とのふれあいにもとづく単元計画作成、または LD、ADHD、不登校、乳幼児等子供の観察にもとづく実習計画作成を行う。					
達成目標(達成水準)	附属校園等において、各人が設定したテーマについて単元計画または実習計画を作成し、実践的な研究の基盤を形成することが出来る。					
授業時間外の学習	単元計画または実習計画の作成等。					
教科書・参考書	随時指示する。					
成績評価の基準と方法	単元計画または実習計画の内容、計画作成への取り組みなどをふまえ、実習校指導担当者と協議の上総合的に判断する。					

授業コード		授業題目	音楽科教育実践研究Ⅱ(長期インターンシップ)		単位数	2
授業種別		履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限
担当教員名	山中・脇岡・宮田・小原・高橋			担当教員所属	音楽教育専修	
担当教員電話				担当教員 E-Mail		
授業テーマと目的	附属校園等において専修指導教員及び実習校指導担当者のもと、高度な専門知識・能力に裏付けられた実践的指導力を育成する。					
授業計画	単元計画の実施、研究会への参加、公開研究授業、または事例研究会への参加、ケース参加の実施を行い、結果を関連分野の研究方法にもとづき省察する。					
達成目標(達成水準)	各人が設定したテーマについて単元計画あるいは実習計画にもとづいて公開研究授業または事例研究等を実施し、結果を関連分野の研究方法にもとづいて省察することができる。					
授業時間外の学習	公開研究授業または事例研究等の準備。					
教科書・参考書	随時指示する。					
成績評価の基準と方法	単元計画または実習計画の実施、公開研究授業、事例研究会等への取り組み、報告書などをふまえ、実習校指導担当者と協議の上総合的に判断する。					

授業コード		授業題目	課題研究(音楽)		単位数	4
授業種別		履修開始年次	2	開講時期	1, 2学期	曜日・時限
担当教員名	脇岡・宮田・小原			担当教員所属	音楽教育専修	
担当教員電話				担当教員 E-Mail		
授業テーマと目的	各自の課題把握にもとづく自主的研究を深め、修士論文に直結する研究を指導する。					
授業計画	各自の継続的研究課題を設定し、研究計画・資料の収集および分析等の諸活動を通して高度な専門的知識の育成をはかる。					
達成目標(達成水準)	各自が設定したテーマについて文献、楽譜などを調査、分析し、自らが主体的に研究することが出来る。					
授業時間外の学習	各自が設定したテーマについての調査・分析を主体的に行うこと。					
教科書・参考書	随時指示する。					
成績評価の基準と方法	上記のことについて、取り組み方も含めて総合的に判断する。					